

入学必須条件



- クラス内の指示がレベル相応に理解出来、活動について行くことが出来ること（低学年については日本語能力のみならず、集中力、集団性、工作などに対する取り組み姿勢なども含む）
- センター外においても何らかの日本語環境及び、又は学習支援があること
- 生徒本人のやる気があること

入学手順



1. オープンハウス出席・またはプログラム見学（見学は年間随時可能、要予約）
2. 体験入学（要予約）
3. 面接
4. 定員に余裕がある場合、随時入学可能

スケジュール*



前期：9～1月 後期：2～6月

年間授業日約32日

毎週土曜日 9:00 am～12:30 pm

2015-16年度 授業料・入会金*



- 前後期各\$685（1年分一括払い\$1270）
- 家族で2人目以降の生徒：前後期各\$635（1年分一括払い \$1170）
- 入会金：生徒一人につき\$40（初年度のみ）

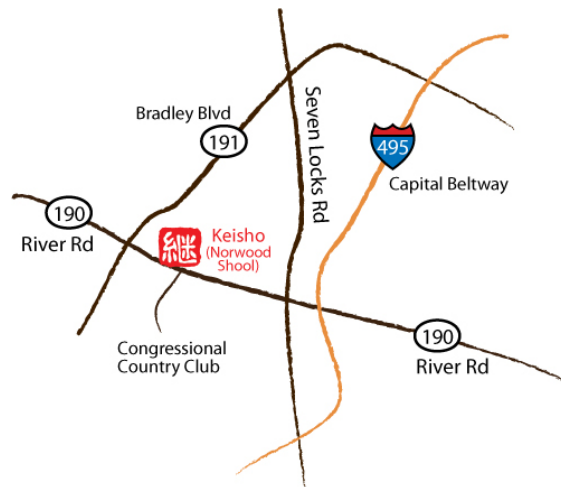
*変更の場合あり。他に書籍代等がかかる場合あり。

場所



Norwood School 校舎
8821 River Road,
Bethesda, MD 20817

*Congressional
Country Club
向かい・信号
右折



お問い合わせ



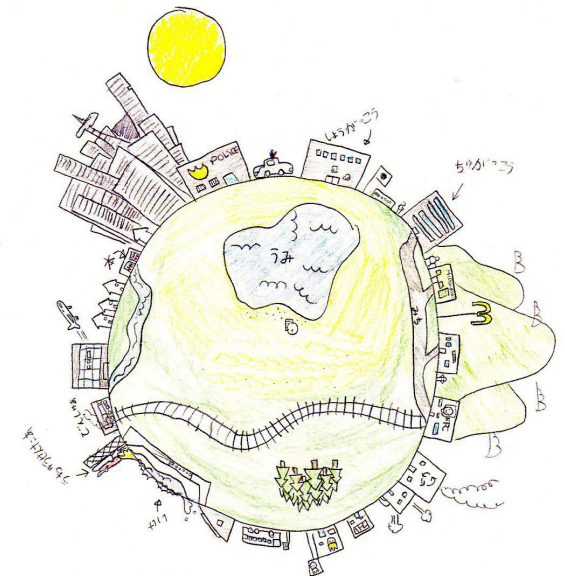
Email: info@keisho.org（日本語可）

Tel: 703-868-3241
（授業日のみ・平日は留守番電話）

その他詳細はウェブサイト
www.keisho.orgをご覧ください

継 ワシントン 日本語継承センター

この地に住む子供たちに
日本語と日本文化を継承する学び舎



2015年8月現在

センター概要



ワシントン日本語継承センターは、英語または多言語の環境に暮らす家族及び生徒のルーツに関わる日本語（継承日本語）を維持発展させていくための学習環境を提供しています。



- 生徒一人一人のニーズ、日本語能力、学習スタイルの違いを理解し、学習意欲を長く維持できるような環境を提供します。
- 生徒を中心とした「プログレッシブ教育」に基づき、生徒の関心を出来る限り取り入れ、日本文化の理解、言語能力の強化・充実を目指しています。
- 個性を尊重し、日本文化を継承する学習機会を提供します。

当センターでは、日本語学習を単に国語、語学として捉えるのではなく、生徒一人ひとりが自分に合った方法やペースで学び、学ぶことの楽しさや将来に繋がるきっかけを見つけることができるような学習環境を提供します。アイデンティティーの確立を助け、お互いを認め合いながら考える力を育みます。それぞれの生徒の人格形成を助け、アメリカに在住しながらも日本の言語と文化に誇りを持つことが出来る環境を生徒たちと共に作っていきます。

一日の流れ



授業時間は9時から12時半まで、途中おやつ休憩、隔週の図書時間を挟み、最後の15分間は全校生徒による歌の時間があります。定まった時間割はなく、生徒の取り組み姿勢や取り扱う内容に合わせて、一日の流れが組まれます。

高学年は、朝の一時間、年齢・学年を問わず、能力別に分かれます。この「ターゲットクラス」では主に読み書き能力に重点を置き、平仮名・カタカナの基礎復習クラスから文法、小学校中高学年漢字レベル、生徒の希望によってはAP Japanese対策クラスなども設置されます。一定のゴールを目指しながら自分の実力

を試す機会として「ターゲットクラス」の生徒には毎年6月の漢字検定と12月の日本語能力試験（JLPT）の受験を奨励しています。

歌の時間



当センターでは、日本語の音や表現の基盤となる、歌の習得を重視しています。子供の頃歌った歌は記憶に残り、文化的懐古的な生涯の財産となることはよく知られています。センターでは生徒と同時代の日本を反映する歌を厳選し、カリキュラムの最後15分間を充てて繰り返し歌っています。また、ワシントン桜祭りでの「歌のステージ」は開校以来の伝統行事となっています。

縦割り活動



子供たちは先生や大人からだけではなく、仲間からも学ぶことができます。自分達の力で、新しいことを発見できる、という独立学習力を促すため、当センターでは、定期的に縦割り活動を行っています。上級生には日本語で下級生を指導する機会となり、下級生には同じような環境で育った「先輩」が身近なものとなります。年齢の違った友達との交流、相互影響など、教科書や普通の授業だけでは学べないことを経験する機会を提供しています。また、定期的に上級生が下級生のクラスを訪れ本の音読をしてあげる「相方リーディング」（Reading buddies）を行っています。両者にとって、日本語の書物を声に出して読む練習、聞く練習となっています。

特別授業・年間行事



生徒の興味を喚起するため、日本に関係した仕事をしている方の講演や、継承センターに通う生徒たちと同じような境遇で育ち成功している方の経験談、日本の音楽や芸術を觀賞する機会などがあれば、随時ゲストを招待しています。日々の授業の中

にも、劇や料理、書道などの活動を取り入れていません。年間行事としては、運動会、正月の餅つき大会、豆まき、ワシントン桜祭り参加などがあります。またセンター内では毎年、年賀状コンテスト、書き初めコンテスト、俳句コンテストなどを行っています。年度末に行う学芸会は一年の学習成果を発表する場ともなっています。

生徒会



生徒たちが積極的にセンターのプログラム内容策定に参加出来るよう、また当センターが生徒たちのためにあるということを生徒自身が自覚出来るよう生徒会が設けられています。年度初めに立候補により役員を募り、センター全体による選挙で生徒会長、

副会長、書記、クラス代表が選ばれます。定期的に生徒会集会が行われ、桜祭りで歌う歌の選曲や特別イベント進行についての話し合いがなされ、生徒たちの意見が可能な限り尊重されるよう生徒会役員が当センターを運営するコアグループの会議に出席し意見を述べる機会が与えられます。

保護者のサポート



当センターの効果を最大のものとするには、保護者の積極的な参加、生徒に対する理解と支援が不可欠です。当センターに関わる全ての人（生徒、教員、保護者、スタッフ）が一体となり、当セ



ンター外においても、日々の生活の中での日本語環境強化、及び日本文化、風習や行事に触れることが出来る環境作りの約束をお願いしています。また図書当番、安全当番や特別行事の準備、進行など保護者が積極的にボランティア参加出来る機会が多々あり、センターと保護者が一つのコミュニティーとして協力しながら生徒たちの学習環境作りを行っています。